

みやぎ工業会 会員アンケート結果（令和3年7月）

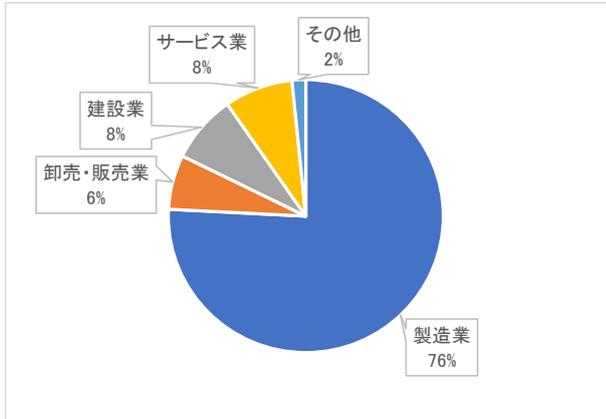
一般社団法人 みやぎ工業会

- ◆調査期間： 2021年7月15日～7月30日
- ◆調査対象： みやぎ工業会 会員企業（62社から回答）
- ◆回答結果

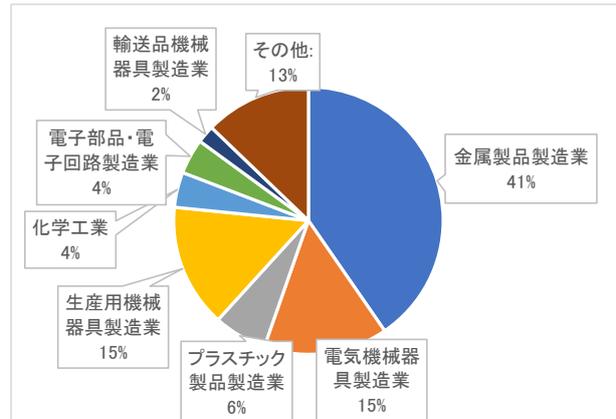
1. 業種について

回答して頂いた会員企業の76%が製造業で、卸売・販売業と建設業、サービス業が6～8%だった。
また、製造業の具体的な業種は金属製品製造が41%、電気機械器具製造が15%、生産用機械器具製造業が15%だった。

1-1 主要事業内容



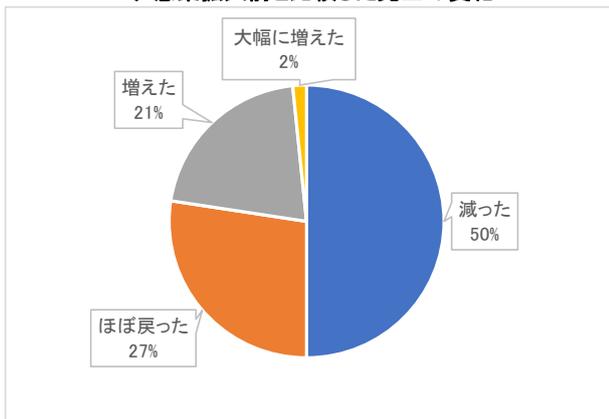
1-2 製造業の場合の具体的な業種



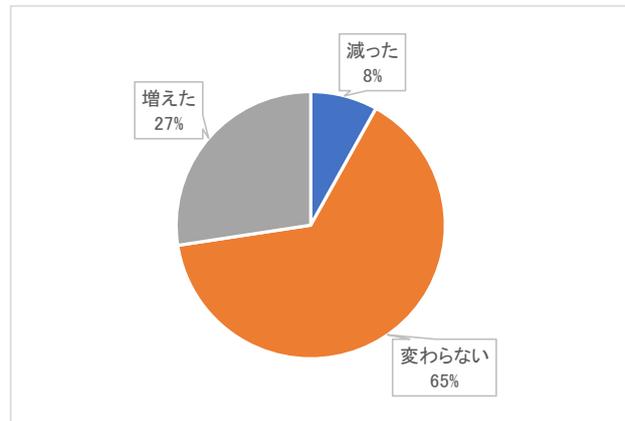
2. コロナ感染拡大前との比較、およびコロナ感染拡大が事業に与えた影響について

売上については、減ったとの回答が50%だった。一方、増えたと大幅に増えたとの回答は合わせて23%あり、その業種は全て製造業で、企業によるバラつきがあると推測される。従業員数については、65%が変わらないとの回答だった。
感染拡大が事業に与えた影響については、「受注」が最も多く、受注の減少が売上減につながったと推測される。

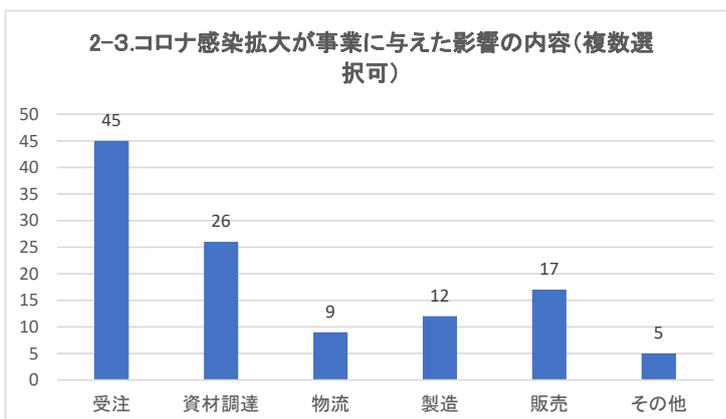
2-1 コロナ感染拡大前と比較した売上の変化



2-1 コロナ感染拡大前と比較した従業員数の変化



2-3. コロナ感染拡大が事業に与えた影響の内容（複数選択可）

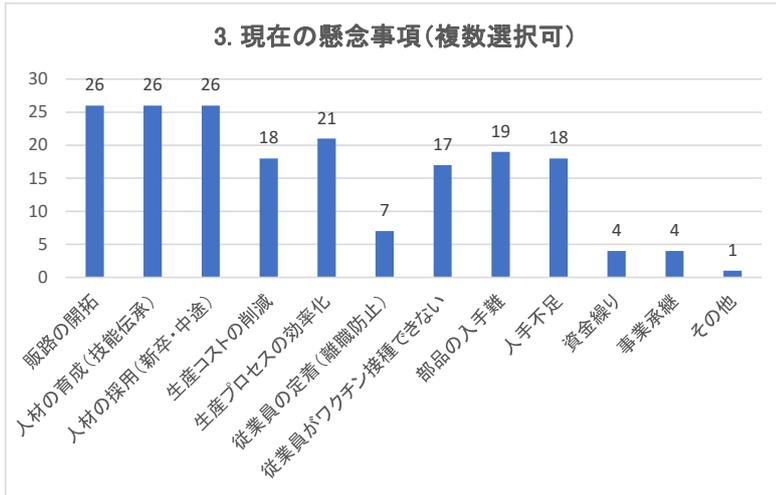


「その他」の回答

- ・長年取引していた表面処理会社が撤退してしまった。
- ・原油価格、原材料の高騰
- ・他県での作業で、宿泊が制限されたり、作業員の居住地によっては制限される場面があった。
- ・オンライン会議の増加、在宅勤務の導入
- ・勤務形態

3.現在の懸念事項について

現在の懸念事項については、「人材の育成」「人材の採用」「人手不足」と人材に関する回答が、合わせて70と非常に多かった。



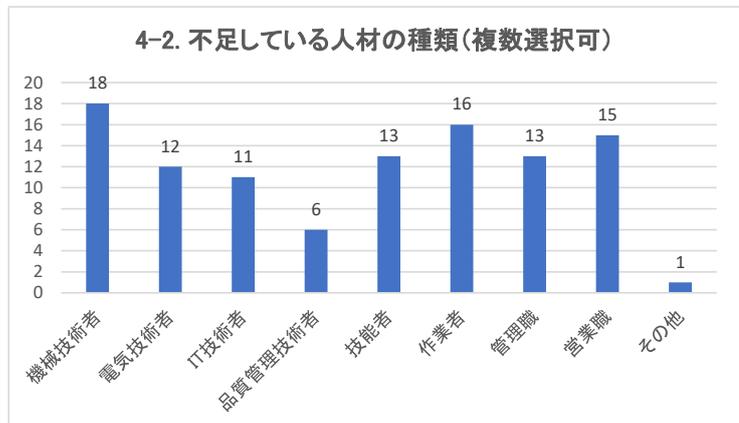
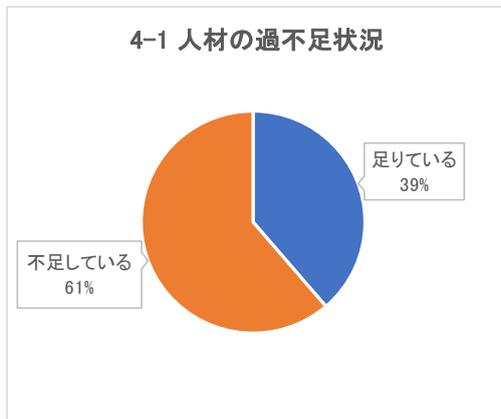
「その他」の回答
・コロナ禍の収束時期が見通せない点

4.人材の過不足状況、採用状況、高齢者の活用等について

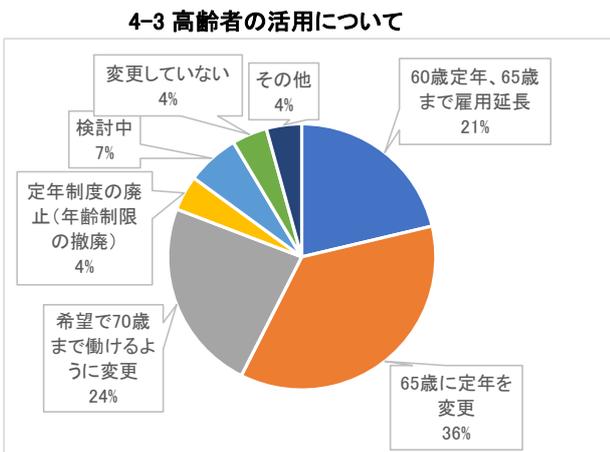
人材の過不足状況については、不足しているとの回答が61%で、不足している人材は技術者(機械、電気、IT、品質管理)との回答が合わせて47と圧倒的に多かった。

高齢者の活用については、定年制度の変更や雇用延長により65歳まで働けるようにしているとの回答が57%と半数以上で、希望により70歳まで働けるようにしている回答も24%で、高齢者の活用が進んでいることが伺える。

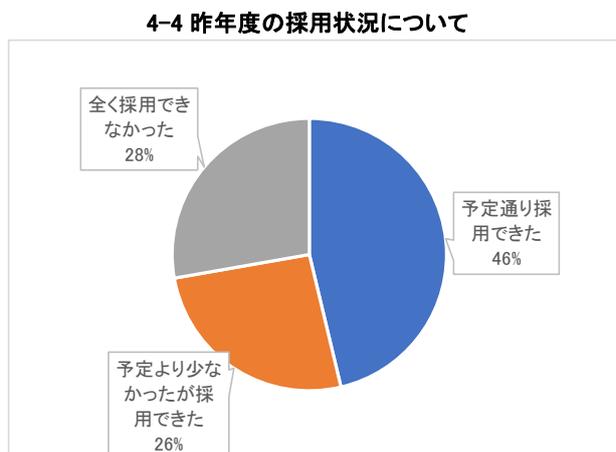
また、昨年度の採用状況については、予定通り採用できたとの回答は46%だったが、全く採用できなかったとの回答も28%と多く、採用活動に苦勞している様子が伺える。



「その他」の回答: 資格を保持した技術者

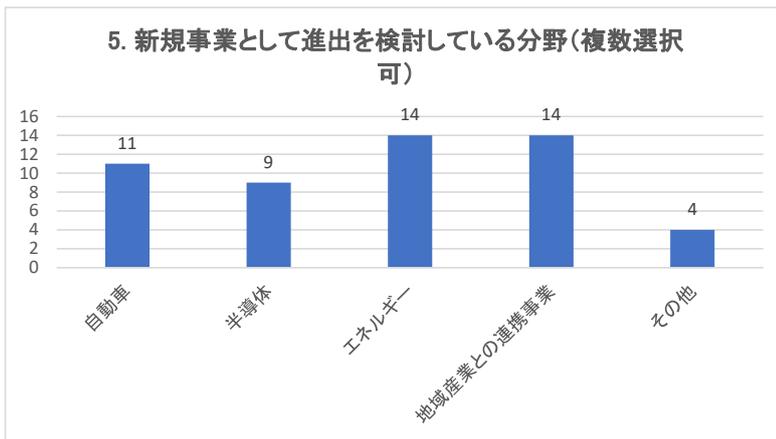


「その他」の回答: 元々65歳定年、それ以降も働ける制度がある等



5. 新規事業として新たに進出を検討している分野

新規事業として新たに進出を検討している分野については、「エネルギー」と「地域産業との連携事業」との回答が最も多く、次いで「自動車」が続いている。

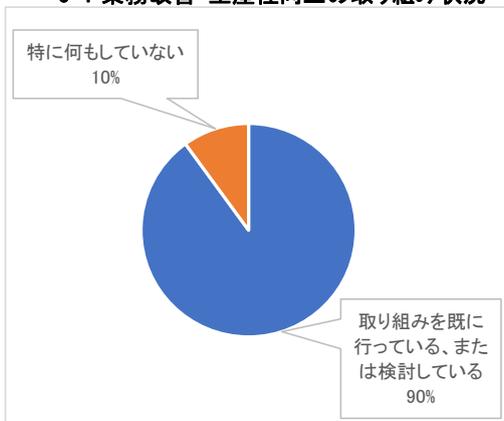


「その他」の回答
 ・インフラの長寿命化
 ・航空、医療
 ・自動倉庫関連
 ・画像・ロボット関連

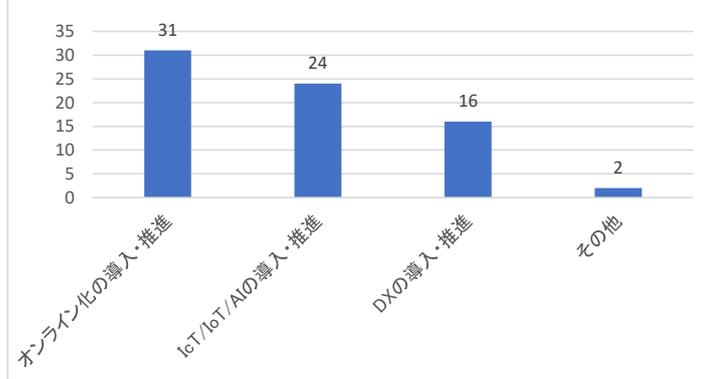
6. 業務改善や生産性向上の取り組み状況

業務改善や生産性向上の取組については、90%が取り組みを既に行っている、または検討していると回答しており、その内容はオンライン化の推進(step 1)、IoT/LoT/AIの推進(step 2)、DXの推進(step 3)と続いている。

6-1 業務改善・生産性向上の取り組み状況



6-2 業務改善・生産性向上の取組内容(複数選択可)



「その他」の回答: 増築、社内プロジェクトチームを発足し活動中等

7. 現在困っていることや行政への要望

【回答】

- ・補助金、補助金種別の拡充
- ・人材確保支援
- ・一刻も早いワクチン接種
- ・発注企業との商談会
- ・作業不足
- ・補助金の拡充、減税
- ・近々社屋を建設予定だが、活用出来る補助金が見当たらない。
- ・東北の一次産業に手厚い支援をお願いします。
- ・材料の高騰、入手不足
- ・人件費の高騰、原材料の値上げ、大手企業の誘致、補助金の拡充
- ・受注改善が進まず先々が不安。資金繰りに影響するが、先に借入した分の返済がスタートします。返済スタート時期の政治的に延長を望む。
- ・コロナ禍への対応と補助金制度の優遇・緩和
- ・補助金、助成金制度の申請書類の簡素化をお願いしたい。
- ・脱炭素社会への対応(B5→B20、ZEB化等)